

水稻（うるち）「岩手21号」（準奨励品種）

（農試 技術部・環境部・県北分場）

1. 来歴

「岩手21号」は昭和54年に放射線照射したササニシキの突然変異集団より選抜・固定をはかった系統である。その後生産力検定及びその他の特性検定を経て、強稈・多収・良質であり、かつ耐病性が優れることから昭和59年より奨励品種決定予備調査、昭和60年より奨励品種決定本調査・現地調査をおこなってきた。
本系統は昭和61年でM₉である。

2. 系譜

ササニシキ ————— 岩手21号
（乾燥種子にγ線20kRを1kR/時間で照射処理）

3. 特性の概要

- (1) 稈長は原品種のササニシキより10cm程度短く70~75cmで、稈長の割合に穂長は長い。
- (2) 玄米はハヤニシキ、アキヒカリより光沢、粒揃いも良く外観の品質は優れる。
- (3) 出穂期・成熟期はハヤニシキとアキヒカリの中間である。
- (4) 耐倒伏性はアキヒカリ、ハヤニシキ並の強に属する。
- (5) 収量性は高く、アキヒカリに近い値を示す。
- (6) 耐冷性はハヤニシキ、アキヒカリより明らかに強く、レイメイ並以上である。
- (7) いもち病の圃場抵抗性はアキヒカリより強いとみられる。
- (8) 食味はアキヒカリ、ハヤニシキよりすぐれる。

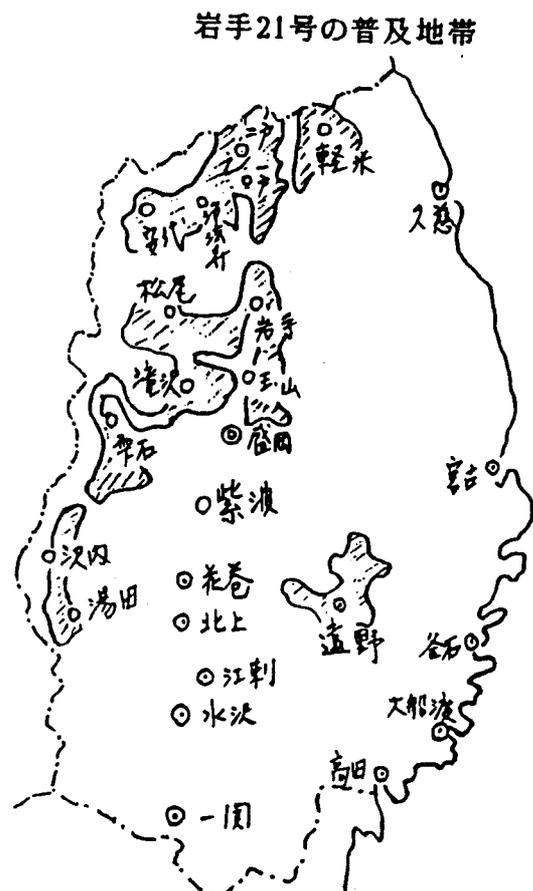
4. 準奨励品種編入理由

県中北部の水稻の品質は久しく低迷を続けている。その原因の一端は品種、特にハヤニシキに起因しており、ハヤニシキ代替品種の要望が強い。また近年アキヒカリの栽培面積の拡大にともない、障害不稔被害の見られる地域も増大しつつある。

「岩手21号」はササニシキに放射線照射を行い育成した岩手県単育種第1号品種である。特性は耐冷性が現在最強のコチミノりに匹敵し、倒伏に強く品質もササニシキの血を受け継ぎ良好である。出穂期はアキヒカリ、たかねみのりより早い早生の早に属し、ハヤニシキの普及地帯及びアキヒカリの不安定地帯に導入するため準奨励品種に編入する。

5. 主な適応地帯及び普及見込み面積

- (1) 県中北部の標高300m以下の地帯
- (2) 普及見込み面積 2,000 ha



6. 栽培上の留意点

- (1) 苗の葉身はハヤニシキ、アキヒカリより伸びやすいので、葉身を伸ばしすぎないように適正な管理を行い、健苗をつくる。
- (2) 熟期はハヤニシキ、アキヒカリの中間であるため、北部、北上川上流地帯の山間部では中苗、成苗などの葉数増加苗を用い出穂の促進をはかる。
- (3) 初期に分げつを多く確保することで多収となるので、本田初期生育を確保するための水管理等を行う。
- (4) 耐倒伏性はアキヒカリ並～やや強く、多肥で多収となるので施肥量はアキヒカリ並～やや多めとする。ただし減数分裂期以降の多追肥は成熟を遅らせるので注意する。
- (5) いもち病抵抗性はアキヒカリより強いが、発病には注意し防除基準に従って適期防除に努める。

岩手21号の収量及び特性

特 性	長所 1.耐冷性が強い 2.稈強く早生としては多収			短所 1.やや小粒である 2.稈長が短い		
	岩手21号	ハヤニシキ	アキヒカリ	岩手21号	ハヤニシキ	アキヒカリ
品種系統名 栽培条件	岩手21号	ハヤニシキ	アキヒカリ	岩手21号	ハヤニシキ	アキヒカリ
形質	標肥:多肥	標肥:多肥	標肥:多肥	標肥:多肥	標肥:多肥	標肥:多肥
出穂期 (月日)	8. 9 : 8. 8	8. 7 : 8. 7	8.10 : 8. 9	8.12 : 8.12	8.10 : 8.10	8.12 : 8.12
成熟期 (月日)	9.26 : 9.27	9.21 : 9.23	9.26 : 9.30	9.28 : 9.29	9.25 : 9.25	9.27 : 9.28
稈長 (cm)	69.9 : 73.9	81.9 : 85.0	75.5 : 78.3	71.5 : 71.7	83.2 : 84.9	75.5 : 78.5
穂長 (cm)	17.4 : 17.9	16.3 : 17.0	16.3 : 16.7	17.5 : 18.1	16.2 : 16.7	16.5 : 17.4
穂数 (本/㎡)	468 : 505	482 : 510	504 : 554	457 : 488	417 : 453	457 : 492
芒の多少・長短	なし	なし	稀短	なし	なし	稀短
耐倒伏性	強	強	強	強	強	強
耐病性	葉いもち 標いもち 白葉枯	P ₁ -+やや強 やや強	P ₁ -aやや強 やや強	P ₁ -a強	P ₁ -+やや強 やや強	P ₁ -aやや強 やや強
耐冷性	強	やや弱	中	強	やや弱	中
玄米重(kg/10a)	69.3 : 74.9	68.4 : 75.2	76.0 : 76.9	72.4 : 73.6	68.1 : 70.8	75.7 : 77.0
対ハニシキ (%)	101 : 100	100 : 100	111 : 102	106 : 104	100 : 100	111 : 109
玄米千粒重(g)	21.3 : 21.5	21.7 : 21.7	22.0 : 22.2	20.9 : 21.0	21.7 : 21.5	21.5 : 21.5
玄米品質	中上	中下	中中	中中	中下	中中
検査等級	1下	2中	1中	2中	2下	2中
食味	中上	中下	中中	中上	中下	中中
調査地・年次	岩手県立農業試験場(昭59~61)			岩手農試東北分場(昭60~61)		

現地試験の収量(kg/10a)と評価

地域名	岩手21号			ハヤニシキ	
	昭和60年度		昭和61年度	昭和60年度	昭和61年度
	標肥	多肥 評価	標肥 多肥 評価	標肥 多肥	標肥 多肥
牛石	638	751 ○	692 693 ◎	600 710	700 650
湯田	695	723 ○	629 731 ○	705 731	670 667
遠野	595	○	600 ○	512	480
山田	600	△	589 △	697	556
浄法寺	709	△	551 ○	716	507